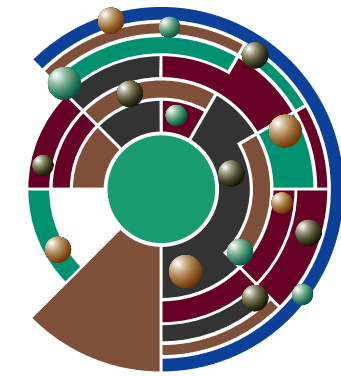


Z AIRAIPRECUT SYSTEM TORISUMI

在来プレカットシステム



ほぞ組加工

プレカット

木造住宅の建方迄は、大工さんが下小屋で板図をもとに柱や梁などに墨付けをし、工具または電動工具を使ってそれぞれの継手・仕口・ほぞなどの加工を構造材に施し上棟現場へ運んでいました。これを高効率な機械加工に置き換え、構造材の断手・仕口などを工場で加工するシステムです。

プレカットの目的は、人手と技能不足の解消・加工精度の向上、品質の安定、工期の短縮が主ですが、最近はこの背景と少し異なり、木材加工の高度化・部材化にもとづく付加価値の向上、品質管理、現場工程の簡略化・流通合理化・販売促進など木造住宅を再復活させる考えが基本となっています。

トリスマは、高品質・高精度の構造部材の自社生産により、今まで以上にお客様のニーズにあう、より快適で信頼性の高い住まいの供給システムを完成しました。

ほぞ組加工と金物仕口加工

軸組木造住宅施工の合理化を目的として構造用やLVL等の工業化木材を、ほぞ組加工や金物を取り付ける仕口加工にいち早く取り組んでいます。

これからの住宅は、高精度、高断熱、高耐久が要求されています。

工期が短縮でき、能率のかつスピーディーに施工ができます。

信頼性

寸法信頼性
徹底した水分管理をしているため、施工後の寸法変化が小さく、冷暖房設備の部屋にも最適です。

品質信頼性
充分な製造管理を行っていますので、安定した品質の製品を御提供できます。

安定供給の信頼性
御要望の数量・品質・製品を御希望にそった納期でお届け致します。

経済性

工場で機械による仕口加工を施しているため経済的です。

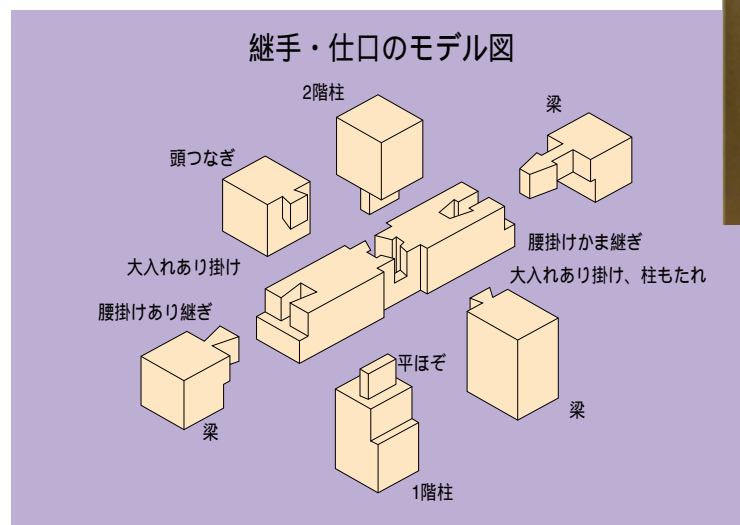
現場作業では、スムーズに組み立て作業ができるため、工期の短縮が可能になります。



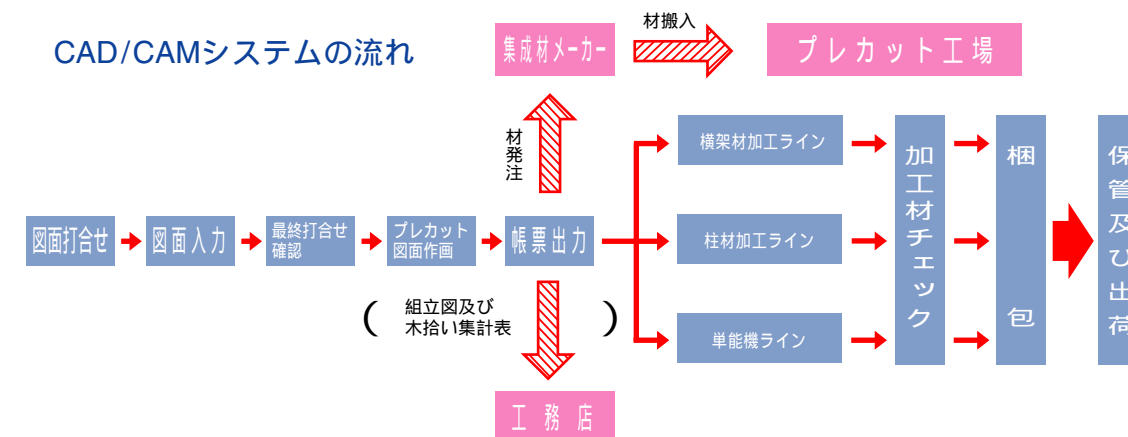
4大ポイント

- ① 高速加工(坪/H 7坪 8時間 約50~60坪)による工期の短縮
- ② コンピュータ制御により高精度・高品質の部材の提供
- ③ 現場工事計画の簡略化
- ④ 大工職人不足の解消

プレカット



CAD/CAMシステムの流れ



プレカット